

話しやすい環境づくり	話をよく聞いてほしい
急に孤立する生徒がいないか、生徒の様子を観察して	生徒が話しやすい先生との関係づくり。
いじめが犯罪であることを教える	いじめの仕組みや原因を教える。
大人から大したことのない事柄であっても親身に話を聞いてもらいたい。	相談しやすい環境づくり
様子が少しでも日頃と違うときは個別で話を聞いたり、よく生徒を見てほしい。	いじめの関係者(加害者被害者)の距離を取る。(クラス替えなど)
見回りの強化	加害者には厳しい処分をする
	防犯カメラの設置
クラス全体での活動を増やしたり、話し合いの時間を増	生徒との面談時間を増やす
みんなが生活しやすい状態になっているかを見てほ	加害者に厳しい指導をしてほしい
相談しやすい環境を作してほしい	被害者に寄り添った対応をしてほしい。
コミュニケーション	問題点をはっきりさせる
普段使用されていない教室や通路の管理、見回り等生徒たちへの声掛け等で少しは防止できるのではないかと	いじめをした側の対応(いじめを受けた側から離す等)
アンケートの実施	アンケートの実施
クラス内での話し合い	
異変に気付いたらすぐに事情を聴いてほしい	
見て見ぬふりをせず、声掛けを生徒たちにしてほしい	先生は日頃の言動に注意してほしい
いじめ防止教室の開催	親身に相談に乗ってほしい
一人一人をよく見てほしい	加害者被害者双方の話をよく聞いてほしい
人権教育の実施	
	いじめの解決策や予防策は思いつかない
いじめが起きないような雰囲気づくり	相談しやすい環境づくり
	相談場所の設置
お互いを思いやる雰囲気づくり	家庭内での日頃のコミュニケーション
クラスルームを使って定期的にアンケートを取る	
生徒のわずかな変化を見逃さないでほしい	